

マウススティック活用法

紹介者 鈴木 太

自助具の紹介ということで、私なりのマウススティック活用法を紹介します。

私の身体状況は頸髄4・5番損傷の完全麻痺。左右差があり右半身は5・6番損傷の症状に近く、電動車椅子の操縦や食事などは装具を使用することにより可能です。妻・子供との3人暮らし、日中妻は仕事へ、私はヘルパーを一日3～7時間利用し愛媛頸損事務局業務・地元当事者団体の活動を自宅パソコンで行っています。1人の時間を希望する生活プランになっていて、午前・午後と最長6時間ぐらい1人である場合があります。1人の時間に必要なものは、オーバーテーブルにおいてマウススティックと右手を使い生活しています。

本や資料を読むことがあります。限られたスペースでは全てをテーブルに広げて置くことはできません。そこでよく使うのがマウススティックと右手で挟んだ移動です。

キーボードの上で読んで横へ移動、入力したらまた読む・・・などということをよくやっています。あとよく行うのがティッシュペーパーでの鼻拭きです。花粉症ではないですが、1人である時の不意の鼻水は非常に困ります。そんな時、テーブルや棚の上に置いたティッシュケースに近づき、マウススティックと右手で挟み引き抜く、その後マウススティックで右手にのせて鼻を拭く。

似た状態の方ぜひチャレンジしてみてください。



資料をマウススティックと右手で移動



ティッシュを引き抜く様子

